

大阪府立大学
名誉教授・客員教授

新
クルーズ
学

►73◄

北欧ブランドの高級クルーズ客船「バイキング」

・エデン」が昨年から日



那覇港の第1クルースターミナルに着岸する「バイキング・エデン」

大人のラグジュアリ 日本市場にデビュー

「につばん丸」「ミツイ・オーシャン・フジ」の3隻の高級船に加え、外国籍のラグジュアリ船に乗れるのは嬉しいことです。同船は、この沖縄発着クルーズを終えた後、3月中旬から神戸発着の7泊8日クルーズを4本、4月中旬からは横浜発着のクルーズを5本行います。その料金は約6万円からラグジュアリ船にしてはリーズナブルな価格となっています。

船内はすべて日本語です。また食事では得意の洋食も絶品ですが日本食や中華料理も美味しく、これは日本人と中国人のシェフが厨房で腕を振るってからのようです。

バイキング・エデン

本発着クルーズを始めました。

バイキング・クルーズが、5万総トン級の高級仕様のクルーズ客船の連続建造を始めたのはわずか10年前。現在、14隻あまりの準同型船が世界中でクルーズを展開しています。中国マーケット進出にあたって、同社は中国資本と合併で招商バイキングクルーズ社を設立して、所有船の一隻を移籍して「招商伊敦」と改名して中国発着の沿岸クルーズや日本クルーズに投入しました。しかし、ラグジュアリ・クルーズ・マーケットが成長していない中国では苦戦したため、昨年には日本マーケットでも営業を始めました。

中国マーケット以外では「招商伊敦」という船名はバイキングのグループ会社とは分かりづらい。そこで登録船名はそのままにして「バイキング・エデン」というブランド名で販売することにした。この方がバイキング・クルーズと同じブランドとしてのイメージが浸透しやすいと考えたのでしよう。

その「バイキング・エデン」の沖縄発着の中国・沖縄クルーズに乗船してみました。那覇港を出港して、石垣島、厦門、宮古島に寄る6泊7日のショートクルーズです。

船内はバイキング・サン時代と同じく、北欧らしく木材を多用して、ゆったりとした造りになって

人の船員で、日本配船にあたって日本人船員も配乗されていました。

さて、同社のモットーは、これまでの欧米のクルーズの常識とはかけ離れたものです。最近のクルーズでは家族連れを大事にしていますが、18歳以下は乗船できません。すなわち「大人の船旅」に特化しているのです。さらに内側客室はない、フォーマルディはない、カジノはない、スペシャリティ・レストランの追加料金はない、船内写真の撮影はない、チップはないなど「ないないづくし」のクルーズになっています。

また食事の時のビールやワインは無料で、寄港地のオプショナルツアーの中にも無料のツアーが組み込まれていました。日本籍の「飛鳥Ⅱ」